

分析と課題

解答類型		割合 (%)
○	条件①, ②, ③を満たして解答しているもの	48.6
×	条件①, ②を満たし, 条件③を満たさないで解答しているもの	36.4
×	条件②, ③を満たし, 条件①を満たさないで解答しているもの	1.9
×	条件①, ③を満たし, 条件②を満たさないで解答しているもの	1.2
×	上記以外の解答	7.2
—	無解答	4.7

誤答の割合が高かったのは、条件③の「イに、必要な本の探し方を二つ書いている。」が満たされていないもので、36.4%であった。これは、疑問に思ったことを学校図書館で調べる際の必要な本の探し方を挙げることに課題があったといえる。なお、実際の誤答は次のようなものである。

(誤答例)

- ・宇宙についての本を探す。
- ・宇宙エレベーターについて書かれた本を探す。

この誤答から、何を探すかということは分かっているが、学校図書館を活用した具体的な情報収集の方法を挙げるができないという実態があることが分かる。こういった誤答をした生徒の多くが、日本十進分類法や図書検索コンピュータの活用といった、実際に学校図書館などで目的に応じて本を探す経験が不足していると考えられる。

質問紙調査との関連

(18) 昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます。）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか

	だいたい週に 4回以上行く	週に1～3回 程度行く	月に1～3回 程度行く	年に数回程度 行く	ほとんど、ま たは、全く行 かない
設問2三 回答状況別の正答率 (%)	58.3	55.0	55.8	51.3	45.8

学校図書館・学校図書室や地域の図書館に「だいたい週に4回以上行く」と回答した生徒が、課題を決め、それに応じた情報の収集方法を考える設問の正答率が最も高い。

指導のポイント

- **実際に学校図書館や地域の図書館を活用して情報の収集を行う学習活動を仕組みましょう。**
 情報の収集は、自ら課題を設定し、その解決を図っていくような学習には、欠かせない学習活動の一つです。この情報の収集自体が、国語科として身に付けさせなければならない力であるということを、まずは再認識することが大切です。
 情報の収集方法は様々あり、教科書教材や先生があらかじめ準備した資料から情報を収集するといった場合もありますが、実際に学校図書館などを活用して情報を収集するような学習活動を仕組み、日本十進分類法やコンピュータを使った検索方法について指導した上で、情報を収集させるといった学習経験を積み重ねさせることも大切です。
 その他にも、長期休業中の家庭学習として、地域の図書館を活用して情報を収集する必要がある課題を出し、図書館の活用を促すことも考えられます。
 なお、国立教育政策研究所の「平成28年度全国学力・学習状況調査 授業アイデア例」には、身の回りの様々な事象から興味を持ったり疑問に思ったりしたことを基にして課題を決め、情報をどのように収集すればよいかについて検討しながら、課題の解決を図る学習が提案されています。それらも参考にして授業改善を進めていきましょう。